



議会だより

第49号 平成29年8月1日発行

みやこ



豊津花菖蒲公園

6月10日

3,000株、1万本、30品種ほどの花菖蒲が5月下旬から6月中旬まで、白や紫の花を順々に咲かせます。毎年6月上旬に、花の見ごろに合わせて花しょうぶまつりを開催しています。

5月下旬から開花をはじめ、6月中旬頃に満開になります。

6月定例会の結果報告…………… 2～5P

議会の活動報告…………… 5～8P

9名の議員が町政を問う…………… 9～17P

小学校の児童が議会を傍聴 …… 18～19P

町内の頑張っている団体を紹介 …… 20P

議長に熊谷みえ子議員 副議長に柿野義直議員が当選

前議長・前副議長の一身上の都合による退任に伴い、5月10日に開催した平成29年第3回みやこ町議会臨時会において、投票により議長・副議長の選挙を行い、議長に熊谷みえ子議員、副議長に柿野義直議員がそれぞれ当選しました。



議長

熊谷 みえ子

就任のあいさつ

去る5月10日に開催されました平成29年第3回みやこ町議会臨時会におきまして、議長に就任いたしました。地方自治の本旨のため議会のはたす役割は重要です。平成29年は憲法、地方自治法が施行され議会制民主主義がスタートしてから70周年の年でもあります。地方自治体は住民の福祉の増進に努めなければならないとされ、住民福祉の原則、行政効率の原則、法令順守の原則など住民自治、団体自治が定められました。住民と共に

ある議会・わかりやすい議会運営に全力を尽くしてまいりますので、よろしく願いたします。

みやこ町議会としても「議会改革調査特別委員会を設置」し、開かれた議会へと取り組んできました。今後は議会中継をホームページで視聴できるようスタートすべく準備が進んでいます。会議録検索はもういっいち早く議会での審議など見ていただける事となります。議会の役割や仕組みを多くの方々に知っていただくように、ホームページや議会だよりを始めとした議会広報の一層の充実に日々努力してまいります。

私も議員一同、町民の皆様への負託にこたえるよう、更なる町政発展に向け、誠心誠意取り組んでまいります。皆様のご協力ご支援をよろしく願いたします。

各常任委員会委員選任

各常任委員会及び議会運営委員会の委員が決まりました。(◎は委員長、○は副委員長)

常任委員会とは、付託された所管に属する議案、請願、陳情等の審査、調査等を行う常設の委員会です。

総務常任委員会

次の課の所管に属する事項
総務課、行政経営課、財政課、税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、

その他 他の委員会に属さない事項

◎飯本 秀夫 上田 重光

○中山 茂樹 肥喜里雄二

中尾 文俊

産業建設常任委員会

次の課の所管に属する事項
観光まちづくり課、農林業振興課、建築課、都市整備課、農業委員会

◎橋本 真助 金房 眞悟

○田中 勝馬 中尾 昌廣

柿野 義直

文教厚生常任委員会

次の課の所管に属する事項
住民課、子育て・健康支援課、保険福祉課、上下水道課、教育委員会

◎柿野 正喜 浦山 公明

○吉竹 次男 小田 勝彦

大東 英壽

議会運営委員会

議会の円滑で効率的な運営を図るため、次の事項を審査、協議します。

1 議会運営に関する事項

2 議会関係の条例、規則、規定及び申し合わせの取り扱い

3 議長の諮問に関する事項

4 その他、議会の運営に関する事項

◎大東 英壽 飯本 秀夫

○中尾 昌廣 柿野 正喜

柿野 義直 橋本 真助

中尾 文俊

各特別委員会委員の お知らせ

議長、副議長の就任に伴い委員の変更がありましたのでお知らせします。（◎は委員長、○は副委員長）

伊良原ダム対策特別委員会

伊良原ダム建設に関する調査・研究

◎田中 勝馬 金房 眞悟
○中尾 文俊 飯本 秀夫
上田 重光 小田 勝彦
浦山 公明 中山 茂樹

基地対策特別委員会

基地問題に関する調査・研究

◎橋本 真助 中尾 昌廣
○肥喜里雄二 柿野 正喜
柿野 義直 吉竹 次男
大束 英壽



議会改革調査特別委員会

議会改革に関する調査・研究

◎中尾 文俊 飯本 秀夫
○小田 勝彦 柿野 正喜
柿野 義直 橋本 真助
大束 英壽 吉竹 次男
中尾 昌廣

広報特別委員会

議会報の編集・発行

※委員は最終ページに記載

みやこ町が加入する 一部事務組合議員の お知らせ

議長、副議長の就任に伴い議員の変更がありましたのでお知らせします。

京築広域市町村圏事務組合議会議員

広域圏消防、休日急患センター等に関する共同処理

上田 重光 浦山 公明

豊前広域環境施設組合議会議員

し尿処理に関する共同処理

大束 英壽 小田 勝彦
金房 眞悟 柿野 正喜
中尾 昌廣

行橋市・みやこ町清掃施設組合議会議員

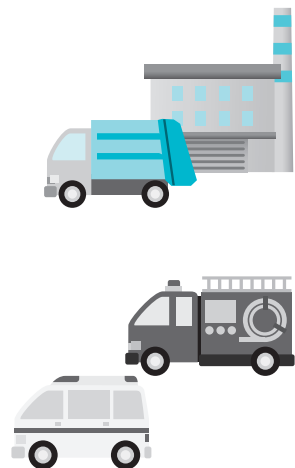
ごみ処理施設の設置、管理、運営等に関する共同処理

中尾 文俊 吉竹 次男
田中 勝馬 肥喜里雄二
橋本 真助

京築地区水道企業団議会議員

水資源の有効利用、水道施設の効率的な運用に関する共同処理

飯本 秀夫 中山 茂樹



新議席が決定

今後2年間の議席が決まりました。この議席番号は、質疑など議会での発言を行う際に呼称として使われます。議席は当選回数・年齢により決定し、議長は16番、副議長は15番となります。

議席	氏名	期数
1	肥喜里雄二	1
2	吉竹 次男	1
3	橋本 真助	2
4	柿野 正喜	2
5	中山 茂樹	3
6	小田 勝彦	3
7	田中 勝馬	3
8	飯本 秀夫	4
9	中尾 昌廣	4
10	金房 眞悟	4
11	浦山 公明	5
12	大束 英壽	6
13	上田 重光	6
14	中尾 文俊	7
15	柿野 義直	6
16	熊谷みえ子	7

平成29年第4回定例会を6月7日から6月23日までの17日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成29年第4回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大束英壽	上田重光	中尾文俊	柿野義直	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (平成29年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計補正予算(第1号))		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
みやこ町教育委員会委員の任命について (大浦進氏を任命)		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
京都郡公平委員会委員の選任について (柏木主税氏を選任)		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
民生委員の活動費に関する改善を望む意見書(案) について																	継続審査
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度 拡充に係る意見書(案)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席。

文教厚生常任委員会 審査報告

6月15日

民生委員の活動費に関する改善を望む
意見書(案)を継続審査

民生委員の活動費を引き上げるための措置を講じるよう求めるものですが、審議した結果、民生委員の重要性は認識しているが、もう少し審議すべきとのことで継続審査とすることに決しました。

国に一言もの申す!
1件の意見書を提出!

教職員定数の改善及び義務教育費
国庫負担制度拡充に係る意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。

また、義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で

国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。国の施策として財源保障をし、子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが必要です。

よって、国会及び政府においては、次の措置を講じられるよう要請します。

- 1 計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。



平成29年第3回臨時会を5月10日に開催しましたので、その議決結果について報告します。

平成29年第3回臨時会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町工場設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

議会の活動を報告します!

総務常任委員会
福岡県総合防災訓練に出席
5月28日

近年、東日本大震災や熊本地震の発生、7月には福岡県、大分県を襲った水害等、全国各地でこれまでに経験したことのないような大きな災害が発生しています。こうした地震や風水害等に対する日頃からの備えが益々重要なものとなっています。

参加者は、熱い日差しの下、陸上自衛隊のヘリの発着訓練や水陸両用車を用いた孤立集落からの避難訓練、倒壊家屋における捜索・救出訓練の他、地元消防団による各種水防工法訓練等について、熱心に取り組んでいました。

こうした現状の中、5月28日に行われた福岡県と吉富町、豊前市、上毛町、築上町、みやこ町主催による平成29年度福岡県総合防災訓練に総務常任委員会委員が出席しました。

災害が発生しないことを誰もが願っていますが、有事の際には、今回の訓練がきつと役立つものと確信しています。

この訓練は、防災関係機関の災害時の連携強化、防災意識の普及啓発などを目的として、県や市町村の他、消防、警察、自衛隊医療機関等、約100の機関が参加して行われたものです。



福岡県総合防災訓練の様子

全員協議会

県営伊良原ダム現地視察

6月21日

平成29年度末の完成に向けて工事が急ピッチで進んでいる、県営伊良原ダム及び周辺施設の進捗状況等について、議員全員による現地視察を行いました。

県営伊良原ダムは、昭和36年度より予備調査を開始し、今年度末に完成予定です。総事業費は758億円で完成すれば県下で2番目に大きなダムとなります。



県営伊良原ダム現地視察

県営伊良原ダムの役割は、

- ①洪水を調節
- ②水道水の供給
- ③川の水量の安定化

であり、いずれも重要な事項です。

今回の視察で参加者からは、ダム事務所の方と意見交換や質疑を交わすなど大変有意義な視察となりました。

地域周辺整備の森林公園整備事業が少し遅れている状況でしたが、つつがなく完成し、ダム完成記念イベントが盛大に出来ますことを願っています。

【ダムの諸元】

型 式：重力式
コンクリートダム
堤 高：81.3m
堤 頂 長：295.0m
総貯水容量：2,870万 m^3
有効貯水量：2,750万 m^3

文教厚生常任委員会

犀川中学校、上高屋・柳瀬・城井小学校を訪問 6月26日

毎年行っている学校訪問を今年は、犀川中学校、上高屋小学校、柳瀬小学校、城井小学校の4学校で行いましたので報告いたします。

今回は、みやこ町総合計画における施策である「子どもの教育環境を充実させる」に視点を置き行いました。

将来を担う子どもたちの教育環



上高屋小学校

境を充実させることは、本町にとつて重要な課題です。そのため取り組みがなされているか、特に次の4項目に対して確認しました。

①基礎学力向上に向けた教育の充実については、全国学力調査では小学校は全国平均を上回っており、中学校は全国平均を下回っているが改善の傾向にあ



上高屋小学校



犀川中学校

る。その根拠として継続的に取り組んできた少人数学級の実施、複式学級補助、教科指導の強化、教師の実践力強化講座、若年教員に対する指導及び研修等が行われており、そのことが結実していると感じました。

②心の教育の推進については、あいさつ運動、たてわり班活動、道徳学習、いじめの早期発見・早期対応、教育相談、美しい学校づくり等が行われており、児童・生徒の不登校防止効果も考えられ、更に継続的に行う必要があると思います。



柳瀬小学校

③特別支援教育の充実については、障がいのある子どもを含むすべての子どもに対して、子ども一人一人の教育的ニーズにあった適切な対応がなされていると思えました。

今後、更に多様化する教育ニーズに対応するためには、一体的な学校生活が出来るように、町としても更なる支援が必要であると思えました。

④特色ある学校づくりの推進については、各学校、教育目標を掲げいろいろな事業を行っており、毎月の校長会では情報交換を行



城井小学校

う等、積極的に取り組んでいる様子が確認できました。

また、ICT機器の導入、活気ある英語教室等、学校教育の充実ぶりが伺えました。

以上、簡単な報告ですが、学校現場では、校長先生をはじめ多くの教職員、関係者の皆さんにより児童・生徒の教育に努めている様子が短い時間でしたが伺い取れました。

今後も、ご自愛され頑張ってください。また、訪問の準備、時間の調整等ありがとうございます。



中野サンプラザホールにて

「大震災における自治体と議会の使命」との題目で基調講演がありました。

講演の中で、「議会の使命」として、日ごろから議会として行動し、多様な市民を含めた議論、国県との折衝、提言等が出来る活動を進める。とお話がありました。

災害は時に私たちの予想を超えたものとなります。常日頃から議会、議員の役割について考え、事前の準備を怠らないことの重要性を痛感させられる研修でした。

**全国町村議会議長・
副議長研修 5月31日**

活 動 報 告

4月から6月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
4月 4日(火)	築城基地観桜会
4月 6日(木)	広報特別委員会
4月 7日(金)	全員協議会
4月 9日(日)	第11回みやこ町さわやかマラソン大会・第59回京都郡ロードレース大会、馬ヶ岳花まつり
4月10日(月)	町立小学校入学式
4月11日(火)	町立中学校入学式
4月15日(土)	行橋京都地区戦没者合同慰霊祭、第6回たけのこ祭り
4月17日(月)	広報特別委員会
4月18日(火)	みやこ町イベント運営委員会
4月20日(木)	京築北九州東部振興会議理事会、広報特別委員会
4月21日(金)	犀川福寿会総会
4月27日(木)	京都郡町議会議長・議会事務局長会
4月29日(土)	吉田学軒顕彰碑献花式
5月 1日(月)	郡長正公墓前法要(147回忌)
5月11日(木)	みやこ町女性学級合同開級式
5月12日(金)	みやこ町民生委員児童委員協議会総会
5月15日(月)	航空自衛隊築城基地協賛会役員会
5月16日(火)	京築北九州東部振興会議総会
5月18日(木)	みやこ町高齢者大学合同開校式
5月19日(金)	みやこ町シルバー人材センター定時総会
5月20日(土)	みやこ伊良原学園運動会
5月21日(日)	町立中学校春季体育大会
5月24日(水)	行橋京都地区防犯協会総会
5月26日(金)	筑豊横断道路建設促進期成会総会
5月27日(土)	町立小学校春季大運動会、みやこ町文化協会総会
6月 1日(木)	第1回みやこ町社会福祉協議会理事会
6月 2日(金)	福岡県町村議会議長会臨時総会
6月 9日(金)	議会改革調査特別委員会
6月10日(土)	第12回花しょうぶまつり
6月13日(火)	福祉車両ユニプレス九州号出発式
6月14日(水)	第72期本因坊戦第4局前夜祭
6月16日(金)	第2回社会福祉協議会理事会
6月17日(土)	町立中学校校内弁論大会
6月20日(火)	伊良原ダム対策特別委員会
6月23日(金)	広報特別委員会
6月28日(水)	福島県小野町議会視察受入、みやこ町認定農業者の会総会



みやこ町さわやかマラソン大会・
京都郡ロードレース大会



郡長正公墓前法要



町立小学校春季大運動会(柳瀬小学校)



福祉車両ユニプレス九州号出発式



飯 本 秀 夫
議 員

Q

災害対策は万全か

A

迅速かつ臨機応変に対応する

Q 災害発生時は、初期作業と相互の安全確認、並びに避難場所への誘導を第一に行わなければならないが、それを実践する自主防災組織の設置状況を伺う。

A 福岡県の組織率92%に対しみやこ町は30%弱と大変低いのが共助や避難にあたって、自主防災組織は必要不可欠と考えているので、

今後も推進して行く。

Q 組織の編成を集落の枠組みにとらわれず、防災機能を重視するならば、地域消防組織の範囲が最良と考えるがいかがか。

A 災害時に共助等が、速やかに実践できる具体的戸数は把握してないが、地域消防は64組織ある。

Q 危険箇所の把握と対処

策、或いはライフラインの確保は、出来ているかを伺う。

A 危険地域の周知を図るため、ハザードマップを配布すると共に対象地域と協議を重ねている。

また、水害対策として土のう等の準備は行っているが、食料等の備蓄は、今後検討する。

基地周辺の騒音対策は

Q 騒音の対策として、基地周辺の防音工事等を行っているが、同一集落に於いても、防衛省は一定の線引きを行い、その対応に不公平感を拭えないが、町の対策は。

A 同一集落でも防音対象区域の区分レベルに違いがあり、不公平ではないかとの声があることは承知しているので、区域拡大や建築年による制限の緩和など国に対して積極的に要望を続け、不公平感の解消に努めたい。

農業問題について

Q 補助事業等の情報が必要。

A 今後は、認定農業者を対象に勉強会や情報の交換を広く行う。

Q 来年度から、



大豆(土地利用型作物)

農業政策が大きく変わるが、町の取組方針を伺う。

A 基本的に転作は、土地利用型作物を推進するが、ある程度行政に委ねられている「産地づくり」の部分を関係機関と協議決定する。

Q

県営伊良原ダムを利用した地域活性化対策について

A

観光客誘致のための活用など検討していく



馬 勝 中
田 議 員

ダム本体工事も完成間近となっている。以前質問した問題についての進捗状況について問う。

Q ダム放流水を利用して、小水力発電所の建設計画について問う。

A 利水者である水道企業団の同意が得られず、小水力発電は不可能となっている。

伊良トピア公園内に計画している沢水を利用した小水力発電は取り入れることにしている。

Q ダム湖面利用によるマリンスポーツの推進について問う。

A 県知事からは、地域振興に有効な方策といたうえ

で、水質悪化や水難事故などの留意点もあることから、具体的な提案の元に検討するという回答がなされている。

みやこ町としては、広大な湖面であることから、観光客誘致のための活用など検討していく。

Q ダムに世界最大級の昇り龍「金龍・銀龍」の建造物の建設について問う。

A ダムは、県の所有物であることから、県に対し実施主体となつて設置していただくように、ダム事務所を通じて要望している。今後、県の動向を注視していく。

ダム建設に伴う地域周辺整備事業の公園等の整備状況について

Q 上伊良原の伊良トピア公園整備事業の進捗について問う。

A 農家レストランは7月中の完成を目指し建設中。

さらに、外構工事や水車の建設も予定しているが、いずれも、今年度中の完成を目指している。

県が行う親水公園や駐車場の工事も今年度中の完成を予定している。

下伊良原の森林公園については現在、周囲路の造成工事を行っており今後、公園内人工林の間伐、あずまや、展望台等の建設を行い、今年度中の完成を目指している。



建設が進む県営伊良原ダム

公園内の建造物については、地元と調整中であるが、今年度中の完成を目指している。

地方創生の任務、地域おこし協力隊について

Q 地域おこし協力隊の活動状況と成果、今後の課題について問う。

A 上伊良原の協力隊員は今年1月いっぱい、家庭の事情で離職した。下伊良原の協力隊員は2年目を迎えて、森林公園事業検討委員会に参加し、地域の方々に対し指導、助言を行っている。

Q 協力隊員を委嘱する場合、何を求めるのか活動内容を明確にして受け入れることが大切ではないか。

A ご提案いただきましたように、今後受入れ時、研修等を考慮したいと考えている。



柿野正喜
議員

勝山図書館に 障がい者用駐車場を

A 返却ポスト利用を含め検討

Q みやこ町の公共施設
とりわけ各図書館の障がい
者用駐車場は不揃いと思っ
て設置基準を伺う。

A (教育長)、バリアフリー
法に基づき図書館や博物館
等公共施設には障がい者用
駐車場の設置が義務づけら
れているが、町独自の設置
基準は設けてなく、国土交
通省の省令によるところで

ある。

Q 勝山図書館は、サング
レート裏駐車場から会館の
中を通り図書館及び返却ポ
ストを利用するようになって
おり、閉館時は返却ポス
トが利用できないのが現状
である。早期に図書館前に
障がい者用駐車スペースを
設けるべきではないか。

A (教育長)、進入路とし

て、多目的広場前のバリカー
(車止め)を常時開けておく
と、一般の車も出入りする
ので、管理面でどうかと思っ
ている。

Q 標識をつけたら入らな
い。やるのが大事である。
主人公は誰か。

A (教育長)、もちろん主
人公は、利用される方であ
り、閉館時の図書返却体制
を含め検討したいと思っ
ている。



勝山図書館の返却ポスト

企業誘致

Q 企業誘致策として条例
の整備により企業誘致を進
めているが、結果に及んで
いないのが現状ではないか。
企業支援内容に事業者が着
目するように大胆に見直し



企業より寄付された福祉車両

てはどうか。

A 条例の根拠法である過
疎地域自立促進措置法の改
正に伴い条例を29年3月31
日に改正した。今後は、企
業誘致が成功をしている自
治体の例を参考に条例の改
正を検討したい。

Q 言われていることは分
かるが、私が申し上げたい
のは、企業を育て誘致をす
るには、みやこ町が投資す
る必要があるのでは。現制
度の固定資産税の免除期間
3年を6年にしたり10年に
したり、それでも将来それ
以上のものが生まれと思
うが、その辺の取り組みの
考えはないか。

A 先進自治体の成功例も
視野に入れ業者が着目する
ような企業誘致策を検討し
たい。

綾塚古墳駐車場

Q 勝山黒田に位置する綾
塚古墳の駐車場整備予算、
設計委託料115万円、用
地購入費200万円、土地
鑑定委託料21万6千円が組
まれ執行されるがその進捗
状況を伺う。

A (教育長)、整備に向け、
まず地元区長さんに駐車場
を設置する旨説明した。次
に場所の選定について文化
財保護委員会を開き現地を
見て意見を聞くなど適地の
検討を行っている。

Q 場所の選定等期限、工
程を伺う。

A (教育長)、明確な期限
は設けていないが年度内に
設計まで終わらせる。大型
バスが入れることを前提に、
面積は500㎡位を計画し
ている。

Q

本庁方式での業務の課題は

A

相談員を配置する



橋本 真助
議員

行政運営

Q 本庁方式での業務をよりスムーズに行うための課題は。

A また、要望や苦情はどのようなものがあるか。

Q 機構改革に伴う業務の縮小などかなりの苦情があった。住民への周知が行き届いていないことが原因である。

A 今後は相談員を配置し、詳しく説明するなどして理解を得る。

Q 今後、災害時などの場合、豊津・犀川支所の体制を強化すべきでは。

A 防災に関して水防計画を変更し、しっかりした体制をつくる。

Q 豊津・犀川支所の維持管理費等の内訳、使用されていない部屋の状況は。

A 平成28年度については、犀川支所1108万4114円、豊津支所922万1305円である。空き部屋はそれぞれ7部屋ある。使用中の部屋に関しては、他団体への貸し出しをしている場合もある。

Q 他団体とはどのような団体か。使用料等の形態は。

A 土地改良区、郷土史会、豊津寺子屋である。使用については、みやこ町財務規則206条の規定に基づいて許可しており、使用料については、免除である。電気代等については、支払いをしていただいている状況である。

Q 維持管理費等の面からも今後、他団体や、企業等に貸しオフィスや貸し倉庫として、仕組みを作るべきでは。

A 空き部屋の利用頻度を

上げていくことも重要である。今後、支所をどうしていくかということを考え利用計画をつくり、貸し出しすべきと考える。

Q 庁舎内の衛生上の課題で、勝山本庁ではトイレに手洗い後に使用するペーパーやエアータオルがないのが現状である。衛生管理の点からも対応すべきでは。

A 公共施設等でエアータオル等を設置している所は見受けられる。今後、検討していきたい。



豊津支所の空きスペース



吉 竹 次 男
議 員

Q 小・中学校統廃合後の 跡地活用は

A 定住促進や企業誘致等 に向けた有効活用を図る

Q 小・中学校の統廃合が計画どおり進めば、9年後には10校程度の学校が廃校になる。統廃後の跡地の活用計画が示されないまま計画が進行している。今後、施設の活用をどう考えているのか。

くりの進捗状況なども考慮し、定住促進や企業誘致に向けた跡地活用を行う。

教育問題

Q みやこ町の小・中学校における、いじめ・体罰等の実態及びその対応はどうなっているか。

A (教育長)、昨年度、町内の学校で認知・確認した

A 公共施設等総合管理計画、施設の現状や将来の在り方、地域コミュニティづ

いじめの件数は、小学校9件、中学校11件の計20件。どの子供にも、どの学校でも起こり得るものであるとの認識を持ち、未然防止、早期発見・早期対応に努めている。体罰が発生した場合、教委に報告。起こった状況と発生後の児童・生徒及び保護者への適切な対応がなされているか確認し、臨時に教育委員会を開催し、対応を協議している。

若者定住政策

Q 結婚祝い金、出産祝い金、住宅助成金等の町独自の若者定住支援策が町民に十分浸透していない。どのように情報発信してきたのか。また、対象要件等の見直し等は検討してきたのか。

A みやこ町のホームページに掲載するとともに広報紙にも掲載している。それぞれチラシを作成し、担当課で対象者に周知している。住宅助成金は、住宅取得助

成期限を3年間に延長した。結婚祝い金は14日以内の住民基本台帳登録が困難な状況が見られるので、改善していく。

高齢者福祉政策

Q 本町は本年4月の住民基本台帳による65歳以上の高齢化率は、県内第5位で37.5%。

自助・共助・公助の役割

分担によるまちづくりが必要と考える。高齢者見守りネットワークの現状は。

A 民生委員、児童委員との連携は、最低でも月に一度の各地区開催の定例会議に保健福祉課の係長以上が出席。相談や気になる情報があった場合は、訪問や面談を行っている。

Q 本年度から認知症カフェ「よつちよいで!みやこ」が開設されたが、今後の展望は。

A 当事者・ご家族の方々の声をどうやって反映させていくかが今後の課題。認知症の方であっても自分の判断で、できることをやっていく、一緒になって社会参加できる場として機能させること。一般の人が認知症のことを少しでも理解してもらえる場として、今後提供していきたい続けられるかが課題。



「よつちよいで!みやこ」の様子

Q

小・中学校統廃合により 維持管理費はどのくらい安くなるか

A

小学校は約9,500万円
中学校は約3,500万円の減額



中山 茂樹
議員

Q 学校統廃合の目的には、経費削減が1つあると思う。学校統廃合により、維持管理費はどのくらい安くなるか。

A (教育長)、町内10校ある小学校を3校にした場合、新設された小学校の維持管理費は1校当たり年間約1500万円、3校で約4500万円と考えている。現在、学校管理費として、営繕工事を含め1億2500万円ほど経費が必要である。維持管理費は約8000万円の減額になると見込んでいる。

また、教育振興経費については、複式学級対応非常勤講師の賃金が約1500

万円の減額と考えている。小学校の経費については、全体で約9500万円の経費削減が見込まれる。

中学校を1校にした場合、新設中学校の維持管理費は年間約2200万円。現在、中学校管理費は、営繕工事を含め5700万円必要である。維持管理費は約3500万円の減額となる。

新しい学校の設計は

Q 気になるのは学校のトイレだが、他の学校を視察し良い点が、今後の設計に生かされているか。

A (教育長)、新しい校舎に、オープンスペース的な場所を確保したい。トイレは大規模改修では、うまくいかない。新築により学校を整備することはトイレの充実が大きなポイントだと考えている。トイレについては、こだわって基本設計をしている。個室を多くするように考えている。

ダム完成後の振興計画は

Q ダム完成後の伊良原地区の振興計画だが、伊良トピア公園整備事業、森林公園整備事業等は、順調に進んでいるか。

A 伊良トピア公園内のレストラン関連建物は、7月中の完成を目指し現在建設中である。

また、福岡県が行う駐車場、親水護岸等の工事も今年度内の完成を目指している。

森林公園については、周園路の造成工事を行っており、今後公園内に、あずまや、展望台等の建設を行い、今年度中の完成を目指している。公園内の建造物については、建物の仕様等について地元と調整中である。町道についても年度内完成を目指している。



完成した伊良原大橋



地元主催による伊良原大橋完成記念式典



中 尾 文 俊
議 員

Q 町有財産の 運用・活用について

A 地元と話し合い 有効活用を検討したい

Q 犀川生立の旧老人いこ

いの家跡地は、神幸祭の際には神輿の休憩場所と業者の駐車場として利用されている。ただ、草が伸び放題で雨が降るとぬかるむが、業者の方は駐車する。以前、同質問に「簡易舗装を検討する」と答弁があったが、今日までなんら対応がなく、管理がずさん過ぎる。今後

の対応を伺う。

A 老人いこいの家跡地は、

初夏と秋の年2回草を刈っているが、神幸祭を念頭に実施時期について検討したい。また、地元と話し合い土地の有効活用を検討したい。

Q ゆいの郷の改築で町業

務が本庁に集約され、豊津・犀川支所では、住民関係の

窓口業務のみになった。また、今年度中には、住民への周知を図り、支所機能を移転するととなっているが、移転先はどこになるか。併せて移転後の庁舎の活用、利用はどう考えているか。

A 両庁舎は、窓口係

のほか土地改良区や寺子屋等の事務所として活用しているが、維持管理に年間2千万円がかっている。今年度中に窓口業務に支障をきたさないよう移転先を検討する。移転後の活用は、住民ニーズや利便性、効果を念頭に検討する。

Q 旧今里団地跡地の宅地

造成が計画されているが、若者定住施策として実施すべきである。宅地は何区画になるか。1区画の面積はいかほどか。

また、造成地の売り出し時期は何時になるか。



今里若者向け住宅横の旧今里団地跡地

A 宅地造成の1区画は、

平均100坪の区画面積であり、分譲区画は7区画で、今年度内の完成を目指している。

Q 道路整備について

犀川末江の変則5差路は見通しが悪く危険である。より安全のためには、道路

に信号の設置が無理な以上、道路の拡幅が必要である。関係地主と協議を進めるべきである。進捗と今後の対応を伺う。

A 信号機は、変則5差路のため難しい。地元と協議を重ね、のり面に張りコンや反射板の設置で見通しが改善され、通行しやすくした。

また、道路の拡幅については、議会終了後、担当課を現地に行かせ、どのようにするのか検討させたい。

Q 犀川・下深野線は、久富地区の途中まで完成しているが、その後、進んでいないが、犀川・豊津・東九州道に重要な路線である。現在の進捗はどうか。

A 京築県土整備事務所に確認したところ、犀川久富地区の用地問題も解消し、今年度は用地買収及び立木補償を行うとのことである。今後も早期に完成するように県に働きかける。

Q

支所の施設を老人ホームに

A

待機者はいないため、新たに整備することは難しい



中 尾 昌 廣
議 員

Q 今、次々と空き施設が点在している。特に、大型施設が残り維持管理でも莫大な費用が予想される。その中、学校編成が計画で、何校もの施設が廃校、空き家が増えている。今後、地方交付税の減額、人口減少による町税等の減少、伊良原ダム完成による公共事業の減少等々、大変心配している。支所の再利用として、多目的老人施設はどうか。3人に1人が65歳、超高齢化社会に突入、独居、認知症、老々介護増大。併せて、年金の目減りにより入所入園が非常に不安、安心安全な町づくりがなされていない。その為にも、多目的総合的



犀川支所

老人施設に活用してはどうか。

A みやこ町には施設が20ヶ所あり入所定員数は700名を超えている。その経営の主体は民間となっており、待機者数はほとんどいない。このような状況を踏まえると町が入居施設を新たに整備することは難しい。

県営伊良原ダム湖にボート、屋形船等は

Q ダムと言いつち50有余年多くの地区の方たちがかわり、ようやく平成29年度をもって完成、平成16年12月知事出席のもと、調印式が行われた。地域の方々は大変な犠牲と大きな苦勞を強いられた。6団体の方々が苦勞して伊良トピア、森林公園整備を話し合い21項目が約束された

初めの約束事であり、しっかりと整備して頂きたい。

湖水に浮かぶ屋形船等、湖面から見る伊良原の山岳は絶景であり、多くの来客が見込めるがいかがか。

A 本町から具体的な提案があれば他県の事例も参考に検討す

ると聞いており、今後、精査し県にお願いをする。

犀川本庄池公園の整備は

Q 「犀川本庄池公園について」新聞で本庄池が紹介県下でも唯一町指定の釣り場であり30センチ級が釣れるヘラブナのメッカであり多くの釣りマニアが訪れる。ハイキング、ウォーキング、ジョギング、歴史ある帝尺山、蔵持権現様があり絶景である。表に出さない手はない。

何度となくお願いをしているが、多くの方に利用して頂く為には、犀川本庄池公園の入口の拡幅が必要と考えるがいかがか。

A 多くの方にこの公園を利用して頂く為に、今後とも地権者の同意が得られるように努力をしたい。



柿野 直義
議員

Q

農業は町の基幹産業か

A

基幹産業と考えている

Q 町の農業生産高は。

A 総農業生産高は合併時の平成18年度で31億円、平成27年度で25億4千万円。

平成27年度の主なものは、お米11億円、野菜5億6千万円、畜産3億8千万円となっている。

Q 生産高の高い品目は何か。

A イチゴ、アスパラガス、

Q 今後の生産目標はあるか。

A 青ネギ、ブロッコリー、菊、ホオズキなど野菜や花卉（かき）である。

Q 今後の生産目標はあるか。

A 平成28年度、これらの作付けした農家は111戸、8ヘクタールである。出荷時期の調整、農地の集積などを関係機関や関係者との調整を今年度中に行う。

Q 平成30年からコメの生産調整が変わるが、どのような事態が予測されるのか。

A 一時的に供給過剰により、価格の下落が生じ、値引き合戦の激化や零細・兼業農家の在庫累積が心配される。

危機管理

Q 梅雨の豪雨や台風被害など過去の被害の実態を把握しているか。

A 平成3年の台風19号、平成24年7月の九州北部豪雨では大きな被害が出た。近年の被害の多くは水害によるもの。

Q 予測される被害の実態に備えを。

A 地元消防団や関係機関等と連携を図りながら備えている。梅雨時期前に十分な土のうを備蓄するなど被害を拡大させない事前準備をしている。

Q 火災の対策は万全か。地域消防団の再編成は終え



職員有志による「土のう」づくり

高齢者対策

Q 町は高齢者に目を向けてもらいたい。一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加している。これらの方々の暮らしを支える重点施策は。

A 高齢化率は37.5%、高齢者の単独世帯数は21%を超え、高齢者世帯は全世帯の4割に近い。高齢者の一人一人にお会いできないため、何らかの連絡や情報をいただいた時は、必ず連絡を取り本人や家族の方のお話を聞かせていただいている。町の支援策は種々あるので、お話を聞きその方の背景を知ることに対応策も変わる。そのために、地域包括支援センター内に看護師、社会福祉士を配して訪問活動を行い、その方の要望や状況に合った支援策を提案させていただいている。

A たのか。地域の割り振りは充分満たされているか。豪雨や台風の時の見回りなど地域消防団の役割は大きい。町のきめ細やかな対応が必要だ。

A 各地区、各消防団でそれぞれの事情があることから計画どおりには進んでいない。関係者と調整を図りながら再編協議を進めていきたい。

える子どもたち!



黒田小学校の児童が議会を傍聴～

には豊津小学校6年生の子どもたち34名が傍聴にきました。6月23日の議会には黒田小学校6年生感想文を頂きましたので、少しずつですが、ご紹介いたします。

☆私は、議場で心に残ったことは、約1時間も問題について話していたことがすごく心に残りました。議員の中で女性が一番だけしかいないと聞いて驚きました。

手を挙げて質問したり、答えたり、スムーズに話し合えるようになっていました。私は、代表委員会で議長になることがあるので、その時は議場で学んだことを生かしてスムーズに進められるようにしたいです。

☆ぼくは、25歳になって議員になって話し合ってみたいと思いました。代表委員会とちがって難しい話ばかりでした。ぼくは、代表委員会でもあまり手をあげて発言することが少ないので、これからさきは代表委員会でも、いっぱい手をあげて発言しようと思いました。

☆私は、みやこ町の議会を初めて傍聴しました。質問で「一番若い人で何歳ですか。」と聞いてみました。議長さんは「31歳です。」といいました。私は40歳から上だと思っていたけど31歳と聞いてびっくりしました。



諫山小学校6年生 議長室にて

☆地元で学ばせ、地元で育ち、このみやこ町を支えるという意見が心に残っています。わけは、大人の人達がまだまだ小さい小学生の成長を楽しみにしてくれていたからです。話を聞いていくうちに、みやこ町のことを本当に大切に思っていることが分かりました。自分もそのようになりたいと思いました。

☆質問や、質問に対する答えをていねいに伝えていて続きが見たくなるような議会で興味を持ちました。町の色々なことをどうすればよいかなど、とても真剣に話し合っていました。ぼくは、このように実際に見ることがなかったので今日は、とてもいい経験になりました。こういう機会をきっかけに話し合いをよくしていきたいと思いました。

☆議会が始まると話し声がやみ、部屋の空気が変わりました。大事な時になったら、すばやく切り替えができるのはさすがだなと思いました。議会が始まると議員さんが質問したけど、それに答えた町長さんが言葉をうまく要約して質問に答えていたので、すごいなと思いました。



豊津小学校6年生 議長室にて



地域の将来を考

～諫山小学校・豊津小学校・

6月19日の議会には諫山小学校6年生の子どもたち7名が傍聴に来ました。6月20日の議会の子どもたち28名が傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。

☆議会は、静かなイメージと予想してたら、やっぱり静かでした。

議会を初めて見学をさせてもらい、とてもすごいと思いました。議会は通学合宿でお世話になった人もいて、議会にいる人々はとてもえらい人だと思いました。

☆今日は、議会に行きました。議会は少し早く終わりました。そのかわり、いろいろな役場の中を回りました。いろいろな係がありました。みんな忙しそうで、町のために働いてくれているんだなと思ったら、うれしいです。ぼくは、役場の人にいろいろと負担のかからないように町を大切に、ポイ捨てもせずに行っていけたらなと思いました。

☆異議が一度もなく、すんなりと終わったので、おどろきました。あまりに早く終わったので役場を回りました。いろいろな課があって、それぞれに仕事があるのですごいと思いました。職員も200人ぐらいいると聞いておどろきました。

もう一度、今度はおもしろい議会を見たいです。



黒田小学校6年生 議長室にて

傍聴に来てくれて
ありがとう！
また、勉強に来てね☆



議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入す

るだけで、どなたでも傍聴することができま
す。議員の生の声や表
情を議場で見学してみ
ませんか。

なお、6月議会の傍
聴者は93名でした。

※本会議は、本庁及び
各支所ロビーに設置し
ているテレビで中継し
ています。是非ご覧く
ださい。

次回、9月定例会の
招集日は、9月7日の
予定です。詳細につい
ては、決定次第、ホーム
ページや防
災無線等で
お知らせし
ます。



がんばつちよる

みやこ町文化協会

みやこ町文化協会（以下、単に協会）は、先行するみやこ町文化協会連合会を平成25年度に発展継承して発足したもので、文化芸術活動およびその振興に係る活動を通して、みやこ町の生活文化の向上に寄与することを目的に活動しています。

会員は約700余名を有し、中央



文化月間記念発表会



夏祭り(上)、産業祭協賛発表会(下)

公民館、サン・グレートみやこ、豊津公民館をはじめ町内の各文化施設などを拠点に定期的に活動し、さまざまな分野で活動の輪を広げています。

協会の事業としては、みやこ町との

協働事業で、花しょうぶまつり、夏まつり、敬老会、三重塔まつり等に出展及び芸能出演を行うほか、自主事業として、文化月間記念発表会（豊津エリア）、産業祭記念発表会（犀川エリア）、文化芸術フェア（勝山エリア）を行い、日ごろの活動の成果を広く一般にも公開しています。

次号以降にそれぞれの事業について紹介させていただきます。

協会の所属教室は、文芸部会に俳句・短歌・郷土史、美術（芸術）部会に

絵画・写真・書道・ステンドグラス・表装・フラワール・レシメント、生活・教養部会に華道・茶道・英会話・園芸・手芸（編物・パッチワーク）、芸能部会に舞踊・ダンス・吟詠・カラオケ・謡曲・コーラス・大正琴・フラダンス・三味線、文化一般部会に勝山太鼓・盆踊り保存会・健康武術（練功・太極拳・少林武術）・地域づくり等があります。

みやこ町文化協会にはこのように、

多彩な文化を自他で楽しみながら発展させて行く人々が多数在籍しております。これからも応援をよろしくお願い致します。

連絡先

みやこ町文化協会 事務局

野口 明

TEL 0930-13314666

みやこ町歴史民俗博物館内
（教育委員会生涯学習課文化係）

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。この度、前委員長が議長に就任されました関係で、新しく委員長に選ばれました田中勝馬で御座います。

皆様方のご意見・ご感想に耳を傾けながら、また、社会の動向や先の時代を見据えたトピックに対する洞察力を磨きたいと思っています。

議会だよりは、議会と町民の皆様をつなぐ極めて重要なチャンネルでもあり、より内容の濃密な議会だよりへと進化させるよう尽力する所存です。より多くの町民の声を聞きながら有意義な誌面づくりに励んでいきたいと思っています。どうか今後とも議会だよりのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

田中 勝馬



議会広報特別委員会

委員長	田中勝馬
副委員長	柿野正喜
委員	肥喜里雄二
委員	吉竹次男
委員	中山茂樹
委員	飯本秀夫
発行責任者	熊谷みえ子